

まちの「今」をお届けします

継続した見守り活動や防災活動が評価 高千帆小が総理大臣表彰

学校・家庭・地域が一体となった学校安全への継続的な取組が評価され、高千帆小学校が令和4年安全功労者内閣総理大臣表彰を受賞しました。報告のため、7月6日、高千帆小学校の下瀬昌巳校長と同校学校運営協議会の5人が市長を表敬訪問しました。

同校は、平成28年度に「山口県学校保健・安全表彰優秀校」を受賞し、平成30年度にも「学校保健・安全文部科学大臣表彰」を受賞しています。

高千帆小学校は、災害等に備えた緊急連絡体制の構築やマニュアルの整備、地域の団体と協力した見守り活動や防災訓練を行っています。また、児童、教職員、保護者が共に集団下校を行い、通学路の安全確認をして、危険箇所を記入した安全マップを作成。さらに、児童が集団登校できちんと一列に並んで歩く姿、地域の人や安全運転をされるドライバーへ感謝の気持ちを表し挨拶や会釈をする姿は、児童を守ろうとする地域全体の安全意識を高めることに繋がっています。

下瀬校長は「地域みなさんのおかげで受賞できた。今後は災害に備えたマニュアルの改善や児童が自分で考え行動できるよう育み、より一層の安全意識の向上に努めたい」と抱負を述べました。



下瀬校長（左から4人目）



「熱中症を0に！」小中学生の力作を表彰 熱中症対策標語コンテスト

児童生徒や保護者に対して、熱中症について考える機会を創出しようと、市と大塚製薬(株)丸喜、市薬剤師会と連携し、熱中症対策をテーマに標語コンテストを初めて開催。7月13日、15人の受賞者に市役所で表彰状と副賞を贈呈しました。受賞作品等、詳しくは市ホームページをご覧ください。



緑のカーテンで育ったゴーヤ 花の海で園児が収穫体験

7月15日、季節体験農場「花の海」で、市内3つの幼稚園・保育園の園児16人がゴーヤを収穫。この行事は収穫を通して、緑のカーテンの省エネ効果を感じてもらうとともに、環境問題や地産地消への理解を深めてもらおうと開催されたものです。参加した園児は「早く帰って食べたいです」と笑顔で話しました。